

立命館大学情報理工学部(入学定員:440人)

## 【構想の目的・育成するグローバル人材像】

情報科学技術に関する専門的知識を基盤として、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、チームワーク力などの社会人基礎力と、それらを英語によって活用・運用できる力を備え、グローバルに活躍できる人材の養成を行う。

## 【構想の概要】

全体を3つのステップに分けて、能力の育成を図る。まず、大学1・2年次を対象とした第1ステップでは、正課専門科目に基づいた基礎的専門性の定着を図るとともに、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力などの社会人基礎力や英語基礎力の育成を行う。大学3・4年次を対象とした第2ステップでは、高度な専門知識に基づき、英語によってグループワークやプレゼンテーションを行う能力を育成する。さらに、大学院前期課程を対象とした第3ステップでは、創造的な研究開発能力を高めるとともに、英語による成果発信や、リーダーシップを発揮したプロジェクト運営が可能となる能力を育成する。

## ■ 教育課程の国際通用性の向上

### ○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

- ・これまでの海外の大学における教育実践や海外の関係機関との連携のさらなる発展によるグローバル化の推進
- ・人材育成目的の実現のために、カリキュラムマップやカリキュラムツリー(いずれも履修要項記載済)を活用した学生の主体的な学びの確立と成績評価の厳格化
- ・英語開講科目の増加、専門基礎科目の充実、IT基礎専門知識の定着や課題解決型学習の積極的実施による国際通用性の向上

### ○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

- ・WEB上での積極的な情報発信(日本語・英語・中国語)
- ・中国、インド、タイを中心に、アメリカ、フランス、ロシアなど世界各国の連携大学・機関への発信
- ・成果報告書の発行、参加学生による成果発表(大学内、海外の大学・企業等)や公開シンポジウムの開催

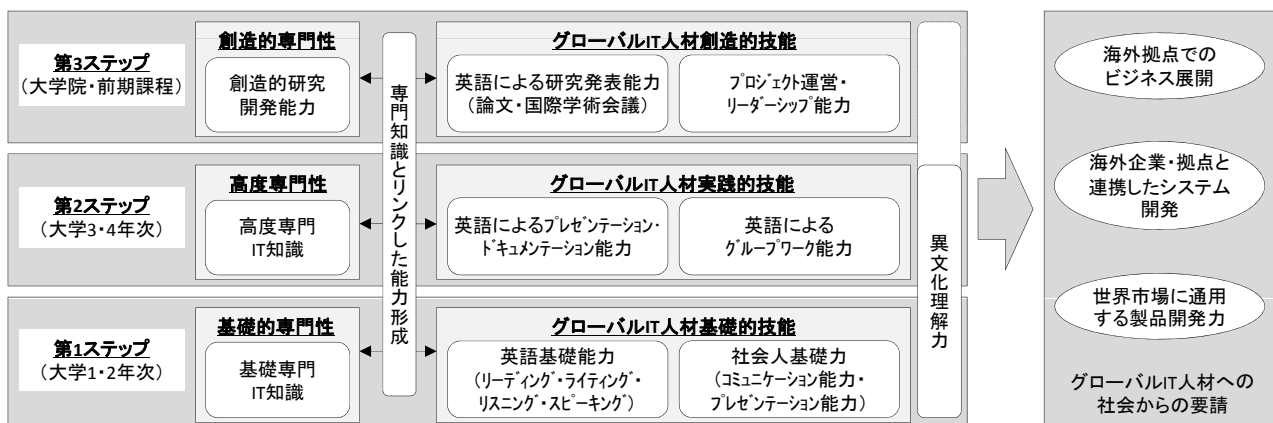
### ○ 事務体制のグローバル化

- ・英語ができるスタッフの配置と語学研修プログラム、カウンセリングスキル等の研修による、スキルアップ
- ・留学生へのアドバイザース能力向上を旨とする職員研修の実施

## ■ グローバル人材として求められる能力の育成

下図の通り、第1ステップから第3ステップの各段階において、専門性とグローバル社会で活躍するために必要な技能を修得する。これにより、社会の要請に応えるグローバルIT人材を輩出することができる。

【グローバルIT人材像 概念図】



## ■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

### ○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

- ・立命館大学附属高等学校や提携校からの入学者に対しては、理系における英語の必要性を説き、中等教育終了時点で必要な英語力を修得するよう働きかけている。

### ○ 効果的な語学教育及び教育体制

- ・海外留学希望者に対し、英語力の把握と目標設定を行い、更なる動機付けを与える制度の導入
- ・専門分野におけるアカデミックな英語力(プレゼンテーション能力、スピーキング力、ライティング力など)向上をめざすカリキュラムの構築
- ・オンライン英語学習コースウェアの積極的活用

## ■ 教員のグローバル教育力の向上

### ○ 教育体制のグローバル化

- ・現在、10名の外国人教員が在籍し、外国語科目だけでなく、英語開講の専門科目を担当。新規任用は、公募制により募集し、国籍・性別は問わない。
- ・海外の大学との共同研究や国際学会等における発表等により、教員自身の外国語運用能力の向上を図る。

### ○ グローバル教育力向上のための取組

- ・海外の大学の授業見学や英語授業研修への参加、合同授業・合同FD研修の実施等により、教育力・指導力の向上を図る。
- ・企業におけるグローバル化の進展や今後の展開等に関する講演会を実施し、社会のニーズを把握し、教育に反映させる。

## ■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

### ○ 動機付けや留学を促進するための取組

- ・情報理工学部の人材育成目的とも関係づけながら、入学時より学生に説明し、留学への動機付けを行う。
- ・留学生や短期研修生との日常的な交流や、気軽に参加できるLanguage Exchange Caféなどの開催により、日頃からグローバルマインドの養成や留学への動機付けを行う。

### ○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

- ・留学前・留学中・留学後、それぞれの時期に必要な手続き等の説明や安心して参加できる環境の提供を行う。
- ・留学中の学生に対しては、WEBシステムの活用により、各種連絡、手続き、質問等を行える環境を用意している。また、学生本人のみならず、父母への情報提供を行い、不安解消を図る。
- ・専門スタッフの配置により、十分な指導・援助ができる支援体制を確立する。

＜参考＞

### 卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

#### 【第1ステップ（大学1・2年次）】

- (1) 基礎専門IT知識： 情報科学技術に関する専門基礎知識の修得
- (2) 英語基礎能力： 4技能（リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング）の獲得
- (3) 社会人基礎力： 技術者に要求されるコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力の獲得
- (4) 異文化理解力： 多様な文化や価値観の理解、日本・日本人に関する再認識

#### 【第2ステップ（大学3・4年次）】

- (1) 高度専門IT知識： 基礎専門IT知識を基盤とした各領域における高度な専門知識の修得
- (2) 英語によるプレゼンテーション能力・ドキュメンテーション能力
- (3) 英語によるグループワーク能力
- (4) 異文化理解力： 国・人種・文化等の枠を超えて行動できる力の獲得

#### 【第3ステップ（大学院・前期課程）】

- (1) 創造的研究開発能力： 修得した情報科学技術を活用できる実践力と独創性の獲得
- (2) 英語による研究発表能力： 英語による専門的知識と実践的な英語能力の修得
- (3) プロジェクト運営・リーダーシップ能力： グローバルな環境で創造性を発揮できる能力の獲得

### 本構想において実現する達成目標

全学		2011	2012	2013	2014	2015	2016
外国語力スタンダードを満たす学生数				40人	45人	50人	50人
うち海外留学未経験者数(A)				10人	10人	10人	10人
海外留学経験者数(B)		72人	51人	73人	85人	95人	105人
卒業[予定]者数(C)		448人	470人	430人	570人	470人	470人
比率 ((A+B)/C)				19.3%	16.7%	22.3%	24.5%
情報理工学部	卒業時の外国語力スタンダード	TOEIC 600点以上		40人(10)	45人(10)	50人(10)	50人(10)
	海外留学経験者数	72人	51人	73人	85人	95人	105人
	3カ月未満	72人	50人	70人	80人	90人	100人
	3カ月～1年	0人	1人	3人	5人	5人	5人
	1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
卒業[予定]者数	448人	470人	430人	570人	470人	470人	

※1)「外国語力スタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の( )内は、外国語力スタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。